

TOTO

化粧鏡

UGM300/301/360/1200

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
取付後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全上のご注意

お取り付け前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容となりますので、必ずお守りください。
●表示と意味はつぎのようになっています。 ●お守りいただく内容を絵表示で区分し、説明しています。

警告
誤った取り扱いをすると、「死亡又は重傷を負う可能性が想定される」内容です。

してはいけない「禁止」の内容です。

注意
誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性および物的損害※の発生が想定される」内容です。

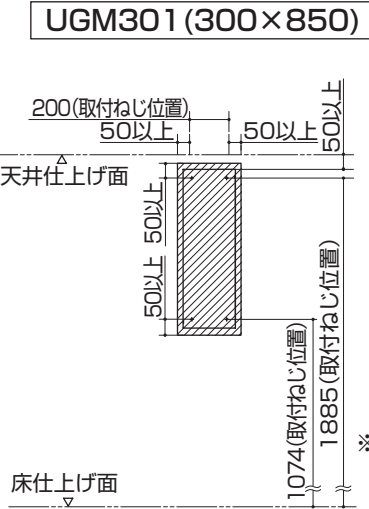
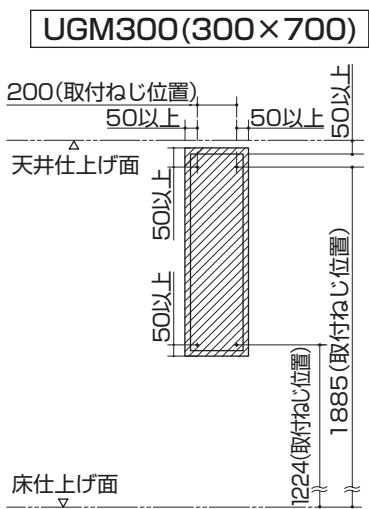
必ず実行していただく「強制」の内容です。

※ 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

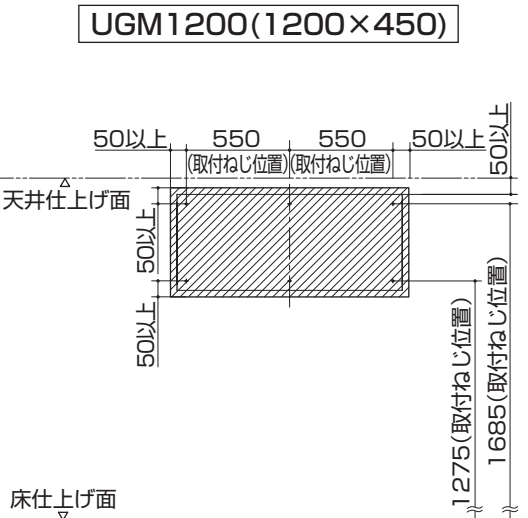
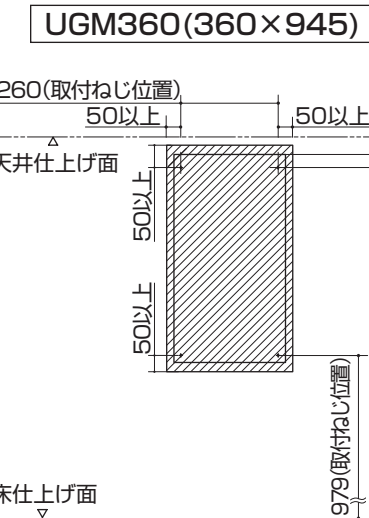
	 水場使用禁止	浴室など水がかかったり湿気の多い場所には設置しない 商品本体・ねじ類の腐食により、落下してけがやときに死亡の原因となります。	 禁止	屋外および傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所には取り付けない 取り付けが不安定になり、落下してけがやときに死亡の原因となります。
	 禁止	器具取り付け用のねじ固定部の壁裏には、配管・配線を通さない 火災や感電の原因となります。 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。		鏡やガラスに無理な力や強い衝撃を与えない 破損したガラスの破片により、けがやときに死亡の原因となります。
	 必ず守る	取付面がタイル・コンクリート壁の場合は、コンクリート用プラグ(現場手配)を使用する 取り付けが不安定になり、落下によりけがやときに死亡の原因となります。 壁固定ねじ取付位置には、必ず壁裏に補強材を入れる 取り付け物の転倒・落下によりけがやときに死亡の原因となります。 機器の設置は専門業者が行う また、電気工事は関連する法令・法規に従って有資格者電気工事士が行う 火災や感電の原因となります。水漏れして、家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。 商品の破損や落下によりけがをするおそれがあります。		工事完了後、商品の傾きやがたつきがないか確認する 商品が落下したり、外れたりしてけがやときに死亡の原因となります。 商品を取り付ける柱・間柱は、腐食などで強度不足でないことを確認する 取り付け物の転倒・落下によりけがやときに死亡の原因となります。
	 禁止	取付金具は上下逆に取り付けない 鏡が外れて落下したり、破損したりしてけがの原因となります。		取付金具の解体は、絶対にしない 鏡が落下したり、外れたりしてけがの原因となります。
	 必ず守る	商品の壁への固定が完了するまで、もたれたりものを載せたりしないよう十分注意する 商品が倒れたり落下してけがの原因となります。		商品の取り付け・加工は、本説明書に記載された方法・注意事項を厳守する 商品が破損・落下し、けがのおそれがあります。
		取付金具を単品で作動させる場合、図のように取付金具を持ち作動させる指をはさみ、けがをするおそれがあります。		ねじ部の固定については、本説明書に記載された方法・注意事項を遵守する 商品が破損し、けがをする原因となります。
		設置工事に使用する部材は必ず付属部品および指定部品を使用する 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。		取付金具および鏡本体は、指定位置に取り付ける 鏡が落下したり、外れたりしてけがの原因となります。
		推奨位置以外に設置する場合は、安全性を十分に確認する 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。		

取り付け前のご注意

- ・器具取り付け部の壁面には、図示位置に壁下地としてt12以上の合板(JAS規格相当品)を入れておいてください。
(壁下地の合板は両端を受け木または間柱などにしっかり固定してください)
- ・タイル／コンクリート壁の場合は、現物に合わせて固定ねじ位置に下穴をあけ、木ねじ用プラグを打ち込んでおいてください。
※斜線部分は合板を示します。



※バックパネル→化粧棚→鏡の順で取り付けてください。



部品の確認

①鏡

(1枚)

②取付金具(上)

(2個)
※UGM1200は3個

③取付金具(下)

(2個)
※UGM1200は3個

④なベタッピンねじ(φ4×30)

(4本)
※UGM1200は6本

⑤フレーム着脱用プレート(30×30×1)

(1枚)

⑥たわみ防止パッキン(30×30×4.5)

(2個)
※UGM300には同梱されていません

⑦鏡フレーム(上)(1本)

⑧鏡フレーム(下)(1本)

※スペーサー付き
※UGM300/301/360

※スペーサー付き
※UGM1200

⑨施工説明書

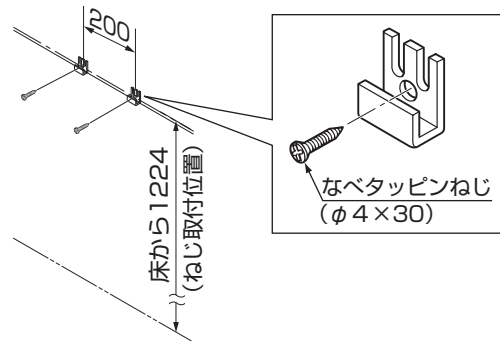
⑩取扱説明書

取り付け方法

1 取付金具(下)/鏡フレーム(下)の取り付け

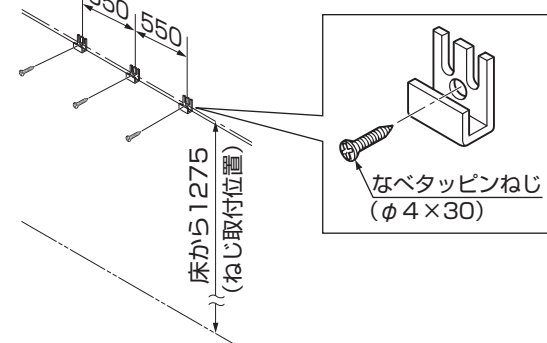
UGM300

1) 鏡の取付位置を確認し、取付金具(下)を付属のねじで固定する。



UGM1200

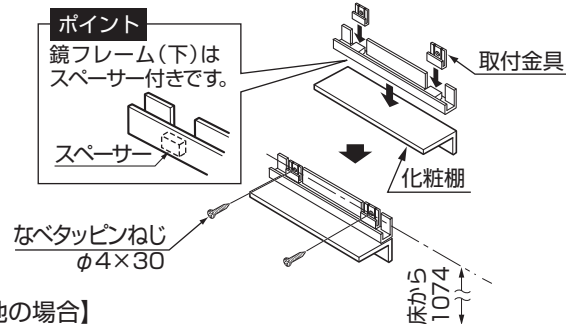
1) 鏡の取付位置を確認し、取付金具(下)を付属のねじで固定する。



UGM301

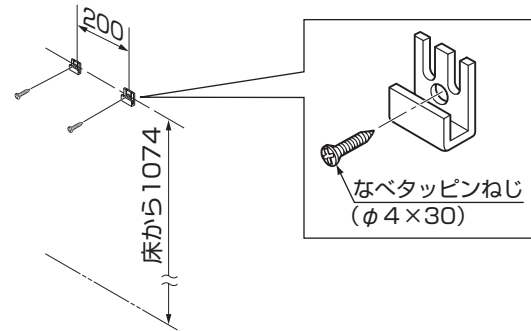
【化粧棚を設置する場合】

- 1) 鏡フレーム(下)を化粧棚上端に載せる。
- 2) 取付金具(下)を鏡フレーム(下)切欠き部中央(スペーサーの上)にセットし、付属のねじで固定する。



【その他の場合】

1) 鏡取付位置※を確認し、取付金具(下)を付属のねじで固定する。

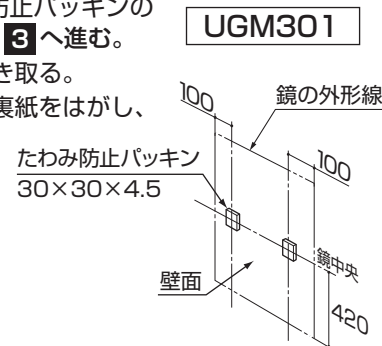


※鏡取付位置(取り付け高さ)について
使用者が特定できる場合、その方の使いやすさに合わせて
取付位置を決定してください。

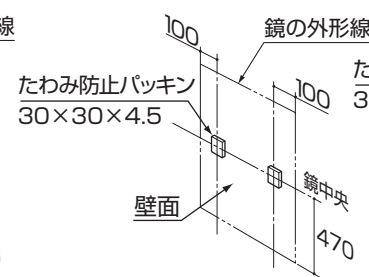
2 たわみ防止パッキンの貼り付け

※UGM300にはたわみ防止パッキンの
貼り付けはありません。**3**へ進む。

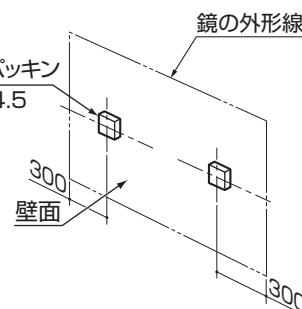
- 1) 貼り付け面の汚れをふき取る。
- 2) たわみ防止パッキンの裏紙をはがし、
壁に貼り付ける。



UGM360



UGM1200

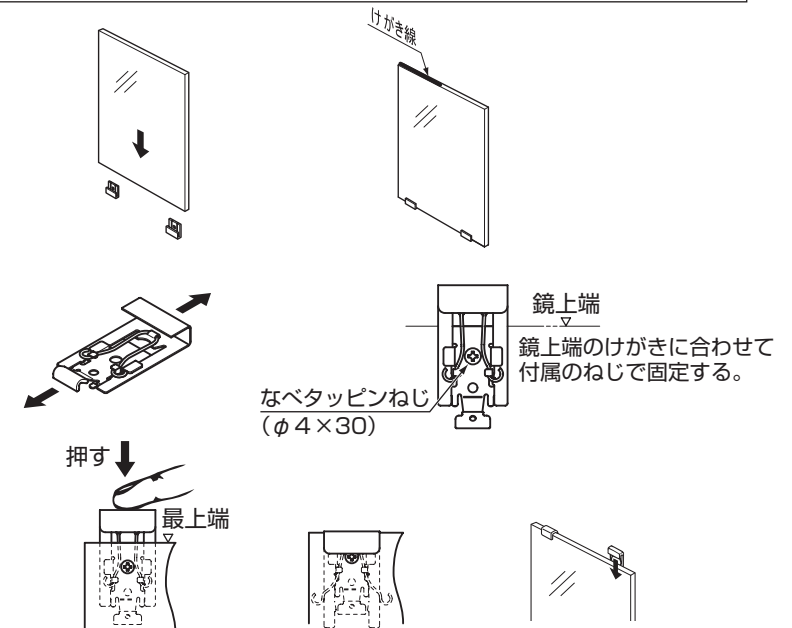


3 取付金具(上)の取り付け

- 1) 鏡を取付金具(下)に仮置きし、鏡の上端面に合わせ、
壁面にけがき線を入れ鏡を外す。(鏡の落下に注意する)
※UGM360(手洗器がある場合)、UGM301(化粧棚がある
場合)は、すでに鏡フレーム(下)が付いています。

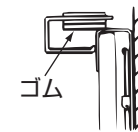
2) 取付金具(上)を引き伸ばし、けがき線に合わせて付属の
ねじで固定する。

- 3) 鏡を再び下側の取付金具に載せる。
鏡を壁に押し付けながら、取付金具(上)を充分下方に
押し付ける。
※取付完了後に、取付金具(上)が最後まで下がっていることを
確認してください。

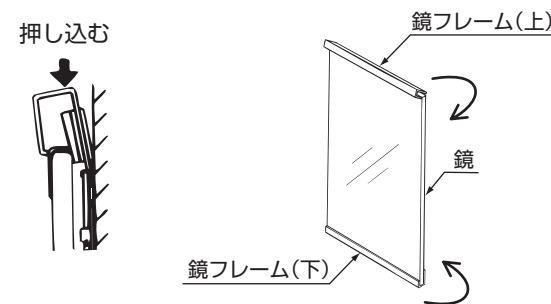


4 鏡フレームの取り付け

- 1) 鏡と鏡フレームの左右を合わせる。
鏡の端部へ鏡フレームのゴム部を水平にあてる。
- 2) 鏡フレームを壁面と鏡裏面との間へ回しこむようにして入れる。



3) 鏡フレームを下方へカチッと音がするまで押し込む。



※鏡フレーム(下)の取り付けは、鏡フレーム(上)と同じ要領で行ってください。

鏡フレームの取り外しかた

- 1) 取付金具付近の鏡表面を手のひらで
押し、鏡とフレームの間にすき間を
つくる。
- 2) 鏡とフレームの間にフレーム着脱用
プレート(厚さ 1 mm)を差し込む。
- 3) 差し込んだフレーム着脱用プレートを
矢印の方向に起こす。
(A部拡大図参照)
カチッと音がして、フレームから取付金具
が外れます。

